

# 令和5年度「学校評価アンケート」結果と分析及び改善・充実案について

文京区立林町小学校

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度の学校評価アンケートの結果と分析及び改善・充実案がまとまりましたので、お届けいたします。次年度の教育活動に生かして参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

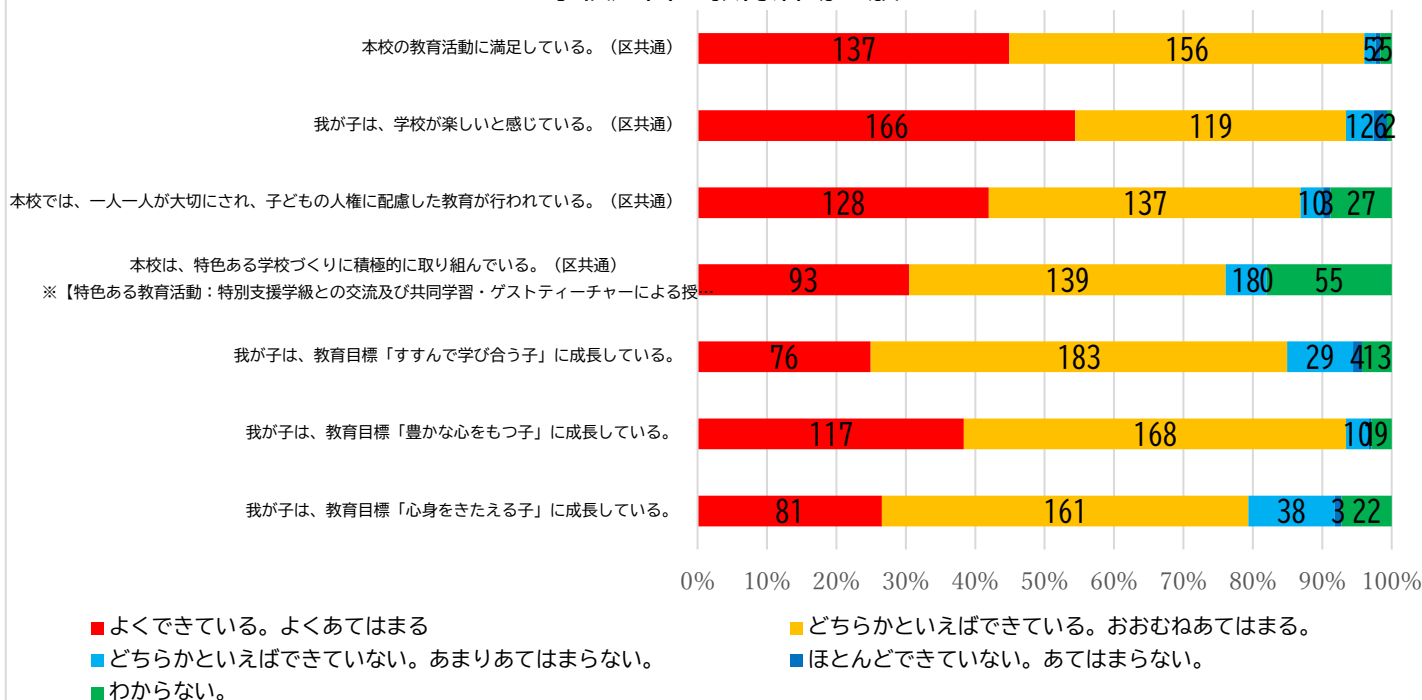
実施期間 令和5年11月22日～12月5日、令和6年1月31日～2月4日

回答 305/676 【回答率 45.1% (児童数で実施)】

今年度も昨年度に引き続き、オンラインでの実施となりました。回答率については、今年度は1度目の期間で約30%の回答率でした。昨年度の62%から半数以上の回答率減となったため、今年度は2度目の回答期間を設けました。

教育活動の改善に生かしていけるよう、保護者の方へのお知らせや実施の仕方を検討し改善して参ります。変わらぬご理解とご協力を、よろしく願いいたします。

## 1 学校運営・教育活動全般について



(※以下、説明においては、質問項目についてキーワードで示します。)

### 前年度との比較

今年度の「1 学校運営・教育活動全般について」の結果は、上のグラフの通りとなりました。

肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

- (1)「教育活動への満足」 令和4年度 95% → 令和5年度 96% (1ポイントアップ)
- (2)「楽しい学校」 92% → 93% (1ポイントアップ)
- (3)「一人一人を大切にした教育」 89% → 87% (2ポイントダウン)
- (4)「特色ある学校づくり」 82% → 76% (6ポイントダウン)
- (5)「すすんで学び合う子」 85%

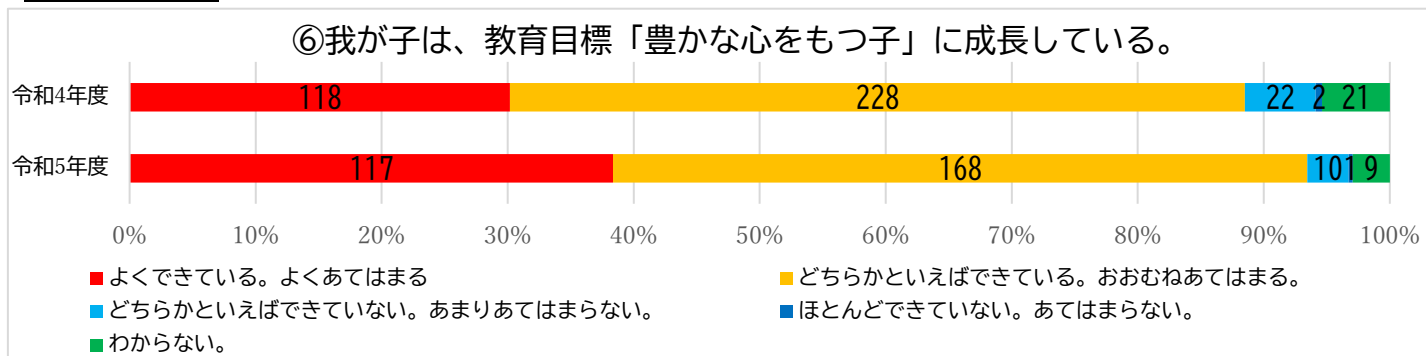
(昨年度のアンケート項目から抜けてしまいました。)

(6)「豊かな心をもつ子」	88% →	93% (5ポイントアップ)
(7)「心身をきたえる子」	79% →	79% (増減なし)

となっています。

学校運営・教育活動全般については、ほとんどの項目で肯定的評価が80%以上の値でした。(4)「特色ある学校づくり」では、「わからない。」という回答が約18%と高い値でした。学校や学年でのゲストティーチャーを招いた授業の様子以外にも、①学ぶ力を伸ばす学習②特別支援学級との交流及び共同学習③小石川植物園への遠足など地域特色を活かした教育④ペア学年活動などの異学年との交流⑤「たいさん木」の活動など、本校の特色ある取り組みを引き続きホームページや学年だより等で取り上げ、周知していきます。

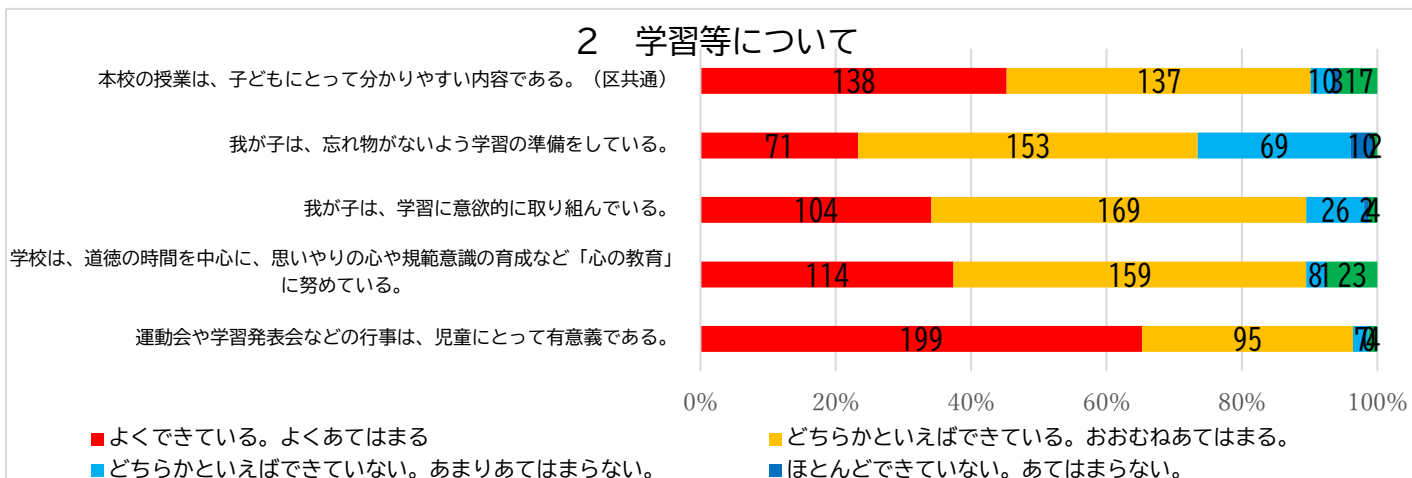
### ピックアップ (6)「豊かな心をもつ子」に関する項目について



### 分析及び改善・充実案

本校の三つの教育目標は、林町の子どもたちが生涯にわたり自ら学ぶ意欲をもち、知性・感性・道徳心や社会性、体力のバランスの取れた「生きる力」を育み、人間性豊かに成長することを目指して設定しています。三つの目標のうちのひとつである「豊かな心をもつ子」に成長しているかどうかは、学校内だけでは変化が見取りにくく、教職員だけでは評価しにくい項目であるため、今回のように保護者の皆様から「よくできている。よくあてはまる。」と「どちらかといえばできている。おおむねあてはまる。」を合わせて93%という評価を得ていることが分かり、大変参考になると感じています。今後も引き続き、学校における心の教育についてご家庭にもお知らせし、学校と家庭との両輪で子どもたちを支えていけるよう努めていきます。

### 2 学習等について



### 前年度との比較

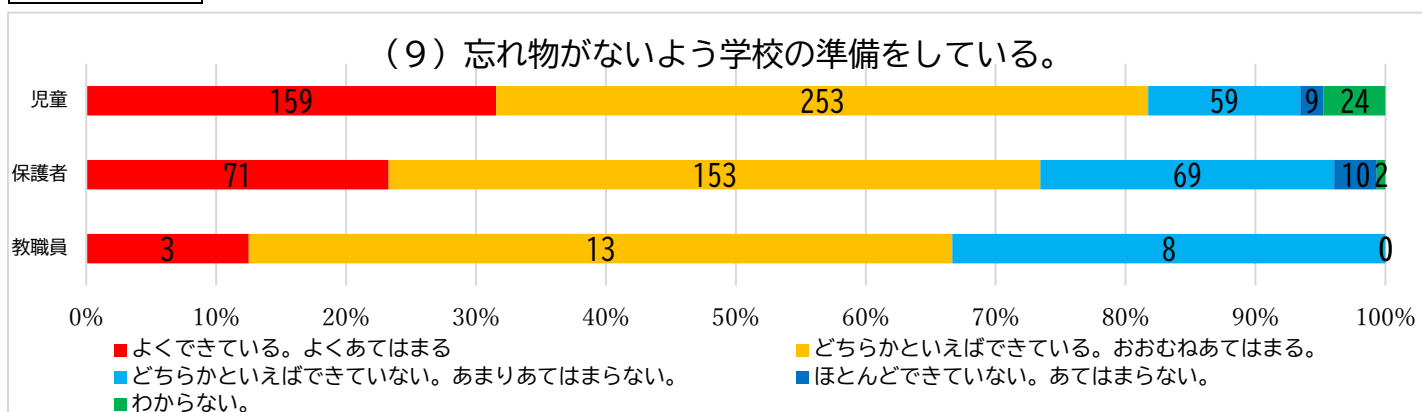
今年度の「2 学習等について」の結果は、上のグラフの通りとなりました。肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

(8)「分かりやすい授業」	令和4年度	91%	→	令和5年度	90% (1ポイントダウン)
(9)「学習の準備」		77%	→		73% (4ポイントダウン)
(10)「学習への意欲」		88%	→		90% (2ポイントアップ)
(11)「心の教育」		86%	→		90% (4ポイントアップ)
(12)「行事」		97%	→		96% (1ポイントダウン)

となっています。

「2 学習等について」は、多くの項目で肯定的評価が90%以上の値でした。(11)「心の教育」では、肯定的評価が昨年度よりも4ポイント値が高くなりました。学年便りで「心の教育コラム」を毎月載せた成果であると考えられます。また、(8)「分かりやすい授業」の項目では、保護者アンケートでは90%、児童アンケートでは95%が肯定的評価でした。引き続き、分かりやすい授業を目指して指導してまいります。

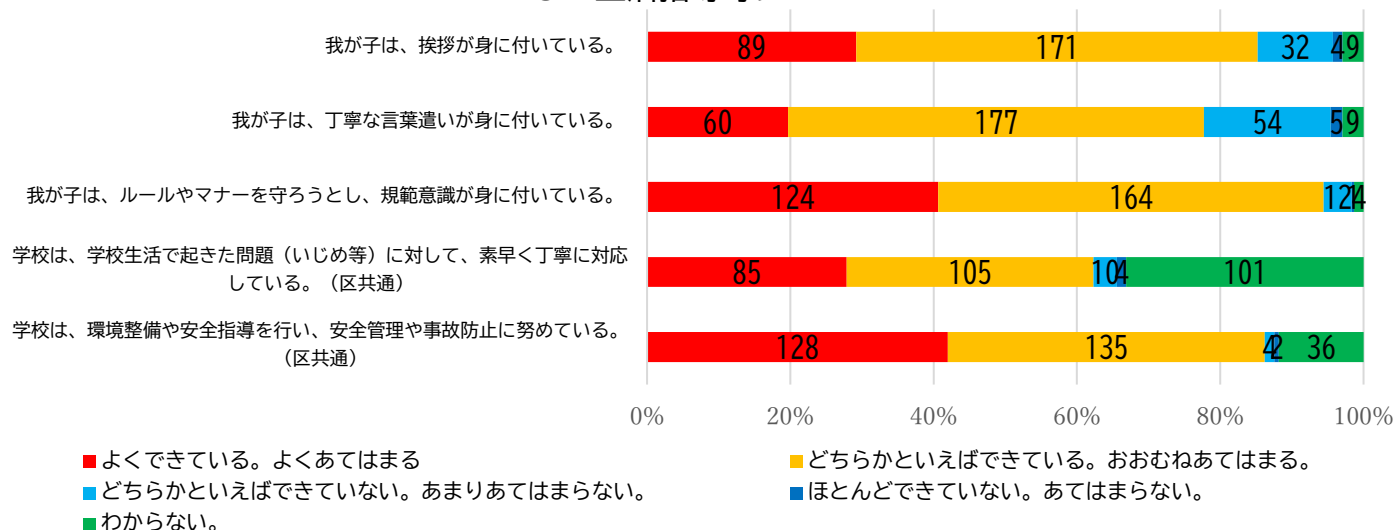
### ピックアップ (9)「学習の準備」に関する項目について



### 分析及び改善・充実案

「忘れ物がないよう学校の準備をしている。」という設問に対して、約8割近くの児童が肯定的評価をしています。一方、保護者と教職員の肯定的評価は児童の割合より少ない値を示しています。今後も、学年だよりを通じて、あらかじめ学習用具などの持ち物をお知らせし、見通しをもって準備をしていけるようにします。また、忘れ物が続く場合は、家庭に電話や連絡帳を通じて連絡をしますので、学習用具を揃えているか声をかけたり、一緒に確認したりするなど、ご協力をお願いいたします。特に、低学年においては、学習用具の準備を児童自身で行えるように、長い期間を通じて継続的にサポートしていただきますよう、お願いいたします。

### 3 生活指導等について



## 前年度との比較

今年度の「3 生活指導等について」の結果は上のグラフの通りとなりました。

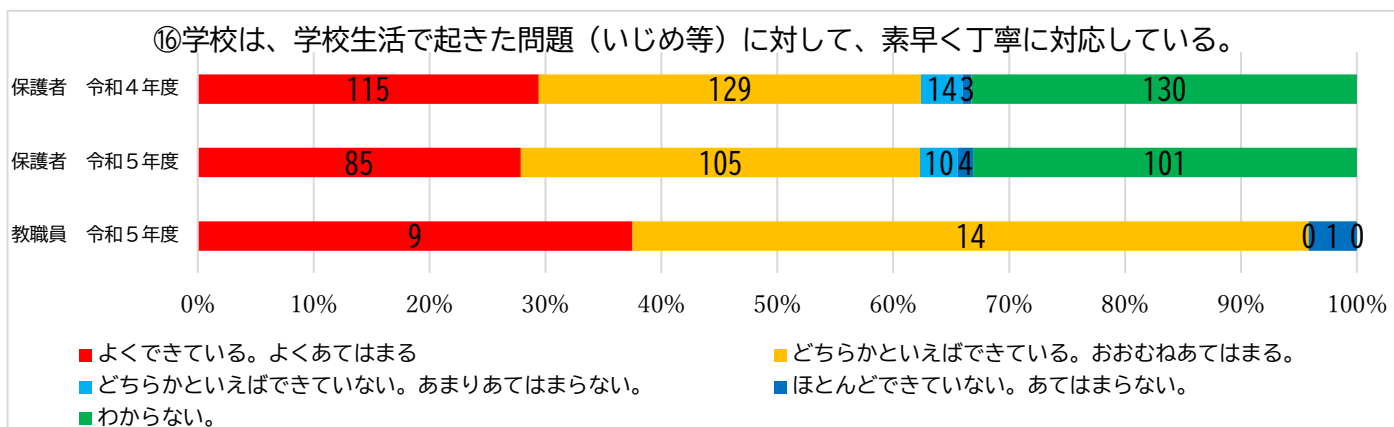
肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

(13)「挨拶」	令和4年度	82%	→	令和5年度	85% (3ポイントアップ)
(14)「言葉遣い」		75%	→		78% (3ポイントアップ)
(15)「規範意識」		92%	→		94% (2ポイントアップ)
(16)「いじめ等の対応」		62%	→		62% (増減なし)
(17)「安全管理」		90%	→		86% (4ポイントダウン)

となっています。

この項目では、評価の値にばらつきがありました。(13)「挨拶」については、昨年度、一昨年度は82%だったのに対し、今年度は85%と微増し、日々の指導や6年生による挨拶当番によって少しずつ挨拶への意識が上がってきたのではないかと考えられます。来年度は挨拶当番を他の学年でも行って、挨拶への意識をさらに高めていきます。

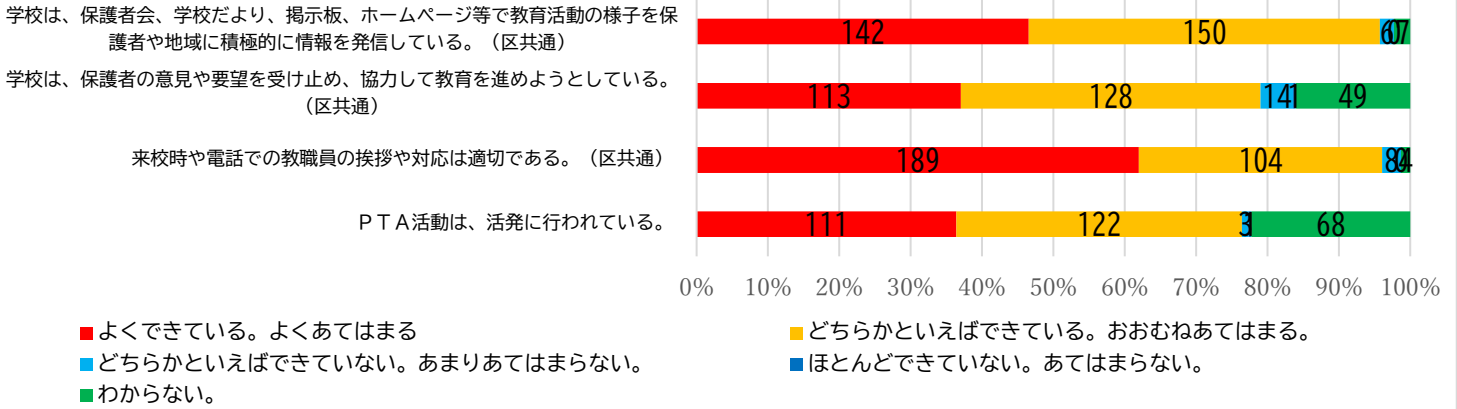
### ピックアップ⑩「いじめ等の対応」に関する項目について



### 分析及び改善・充実案

「いじめ等の対応」では、保護者の方の回答は、「よくできている。よくあてはまる。」「どちらかといえばできている。おおむねあてはまる。」を合わせて62%だったのに対して、教職員の回答は、95%でした。今年度も保護者の方と教職員で大きく差が表れる結果となりました。この差を減らしていくには、保護者の方の「わからない」というご意見を少しでも減らしていけるように努めていく必要があります。具体的には、①担任は、日々の子どもたちの様子を保護者の方にだけでなく、学年間や管理職等にも伝える。②子どもたちの「心のアンケート」を実施後、いじめの兆候が見られるケースを迅速に把握し、学年、学校全体で対応を図る。そして、保護者の方にも学校の取り組みを十分知っていただけるよう、ホームページで「いじめ防止対策基本方針」を周知したり、保護者会で本校のいじめ防止に対する取り組みを伝えたりするとともに、DVD教材「STOP!いじめ」(東京都教育委員会)等を活用した道徳の授業を実施して保護者の方に周知するなどして、保護者の方の理解促進に努めていきます。

## 4 保護者・地域との連携



### 前年度との比較

今年度の「4 保護者・地域との連携」の結果は上のグラフの通りとなりました。

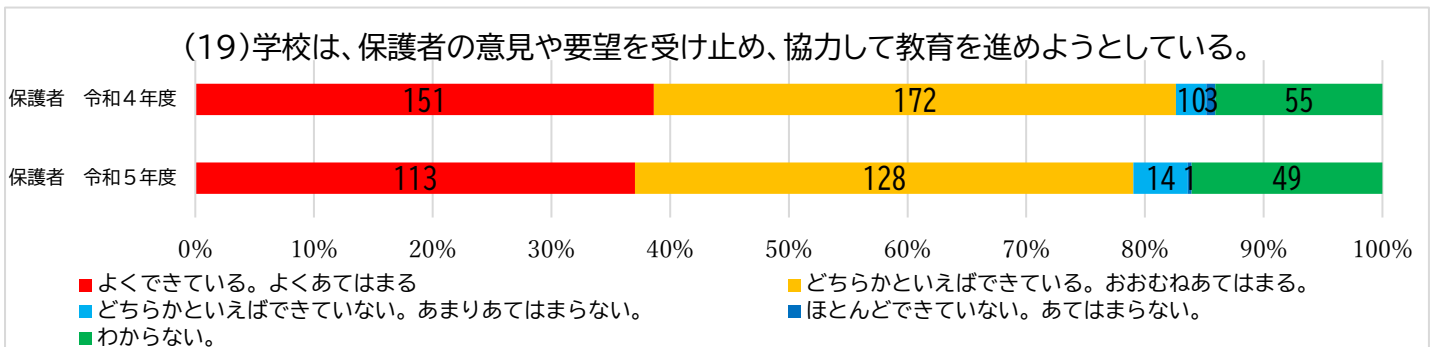
肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

- (18)「情報発信」 令和4年度 95% → 令和5年度 96% (1ポイントアップ)
- (19)「要望の受け止め」 83% → 79% (4ポイントダウン)
- (20)「教職員の対応」 99% → 96% (3ポイントダウン)
- (21)「PTA活動」 82% → 76% (6ポイントダウン)

となっています。

保護者・地域との連携についても、項目で評価の値にばらつきがありました。(18)「情報発信」では、肯定的評価が令和3年度は92%、令和4年度は95%、今年度は96%と高い値を示しています。今後も本校の教育活動をわかりやすくお伝えできるよう取り組んでいきます。また、「学校運営・教育活動全般について」でもふれたように、「特色ある学校づくり」についてもホームページやお便りを通して情報発信をしていきたいと考えます。

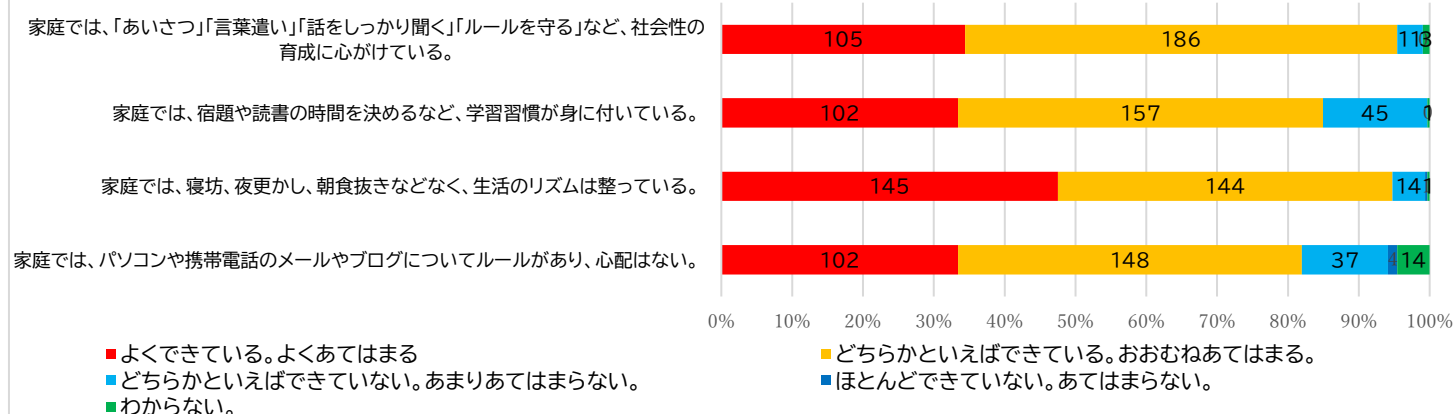
### ピックアップ (19)「要望の受け止め」に関する項目について



### 分析及び改善・充実案

この質問について「わからない。」という回答が多い点に注目しました。学校に対して意見や要望を出されるということについてご経験のない場合や、ご意見やご要望に対して取り組んだ学校の対応がどれに当たるのか分かりやすく伝わっていない場合が多いのではと考えました。学校が新たにに取り組んだ事柄が保護者の皆様に適切に伝わるように、ホームページ等を活用して広報していきたいと思えます。

## 5 家庭教育について(家庭での親子の関り等について)



### 前年度との比較

今年度の「5 家庭教育について(家庭でも親子の関わり等について)」の結果は上のグラフの通りとなりました。

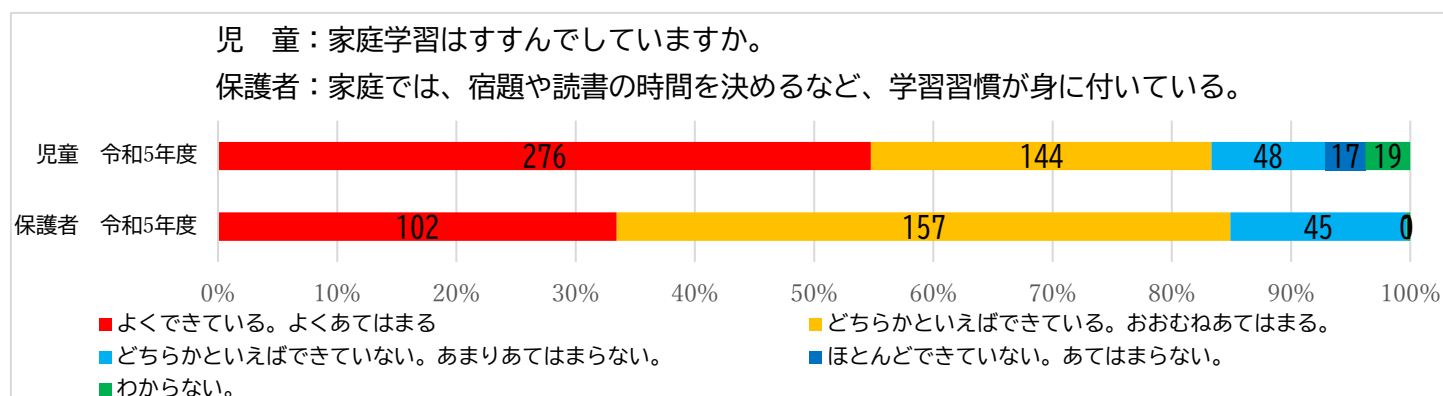
肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

(21)「社会性の育成」	令和4年度	95%	→	令和5年度	95%	(増減なし)
(22)「学習習慣」		86%	→		85%	(1ポイントダウン)
(23)「生活リズム」		90%	→		95%	(5ポイントアップ)
(24)「携帯電話の使用等」		86%	→		82%	(4ポイントダウン)

となっています。

家庭教育については、全ての項目で肯定的評価が80%以上の値でした。(24)「携帯電話の使用等」については令和3年度から令和4年度の結果が7ポイントアップしていたのに対し、今年度は4ポイントダウンしていました。一人1台のタブレット端末の活用が進んで使い方に慣れる一方で、ルールを守れないことがあるのだと考えます。学校では引き続き、情報モラルの重要性を指導していきます。再度ご家庭でも、タブレット端末やスマートフォンを使う際のルールについて話し合ってくださいようお願いいたします。

### ピックアップ②「学習習慣」に関する項目について

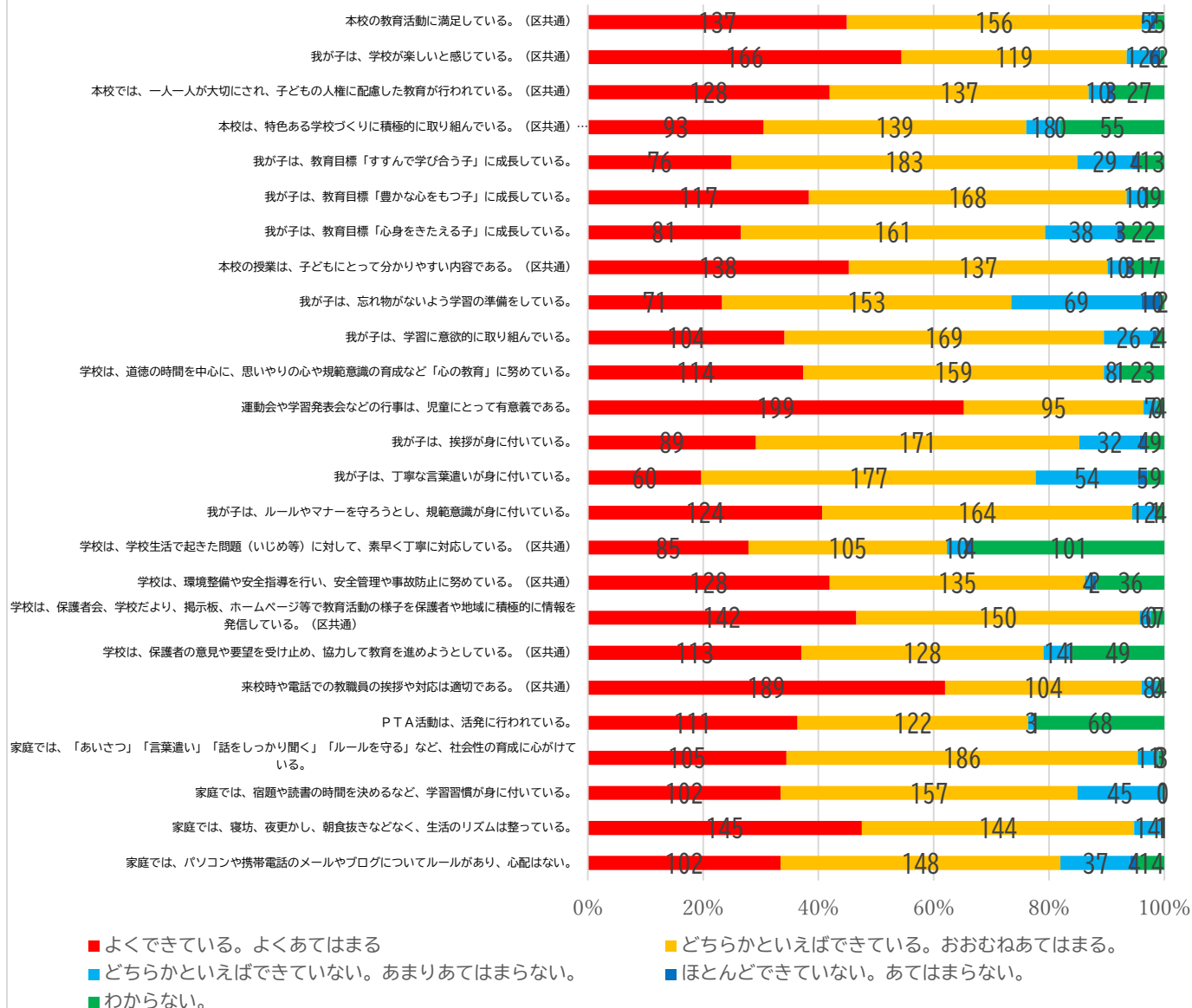


### 分析及び改善・充実案

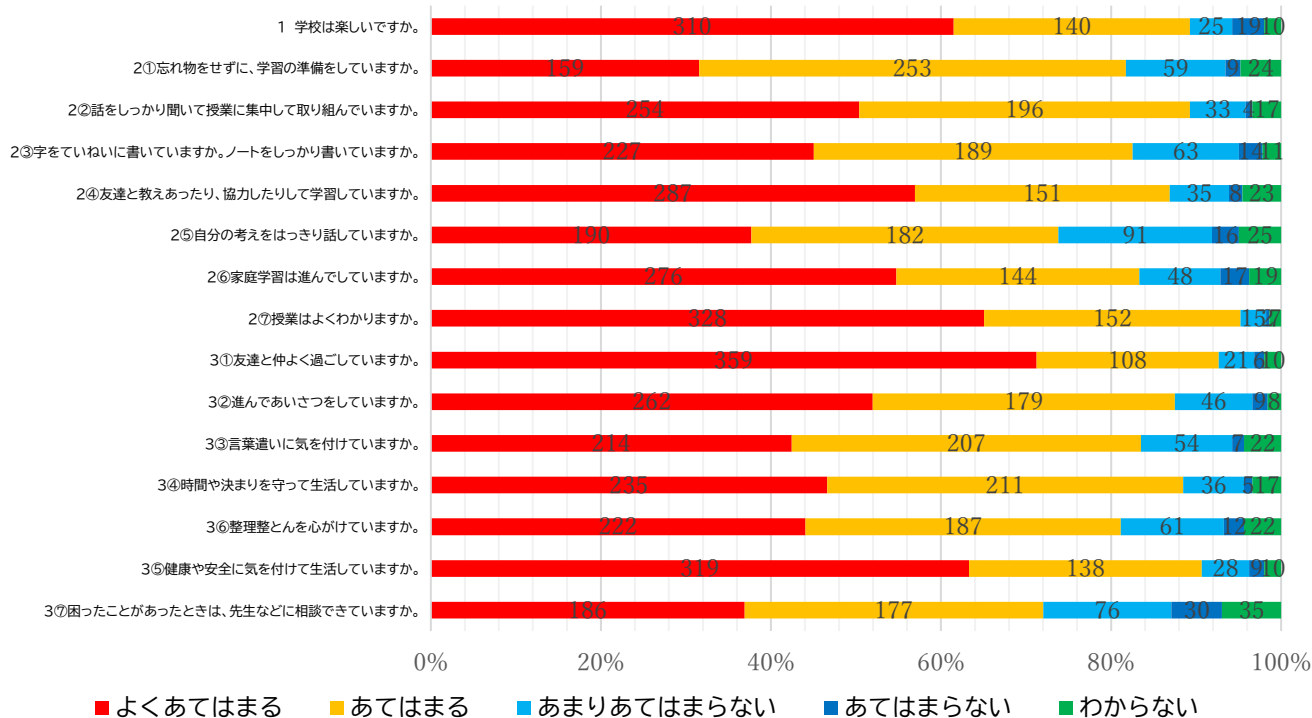
学習習慣に対する肯定的な評価は、児童・保護者ともに8割を超えており、宿題や読書の時間を決めるなど、計画的に家庭学習に取り組んでいることが分かります。学校では、自ら問題を見付けたり問題を見いだしたりする主体性を大切にしています。学校から与えられた学習だけでなく、自分が疑問に思ったことや調べてみたいことを追究するような学習に取り組むことで、学びに対する主体性も高まります。ご家庭での学習内容について話

題にさせていただきたいと思います。

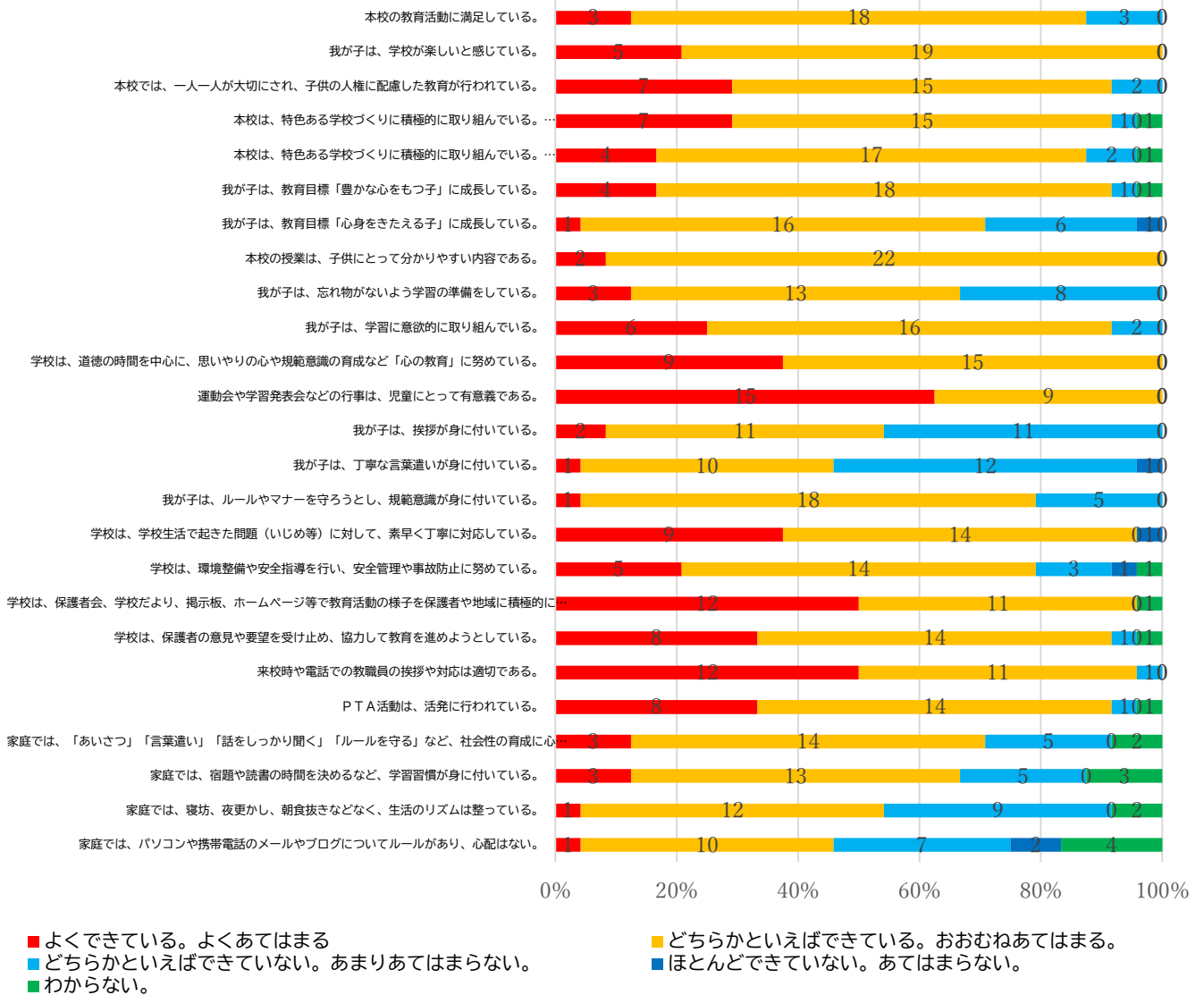
## 保護者アンケート



## 児童アンケート



## 教職員アンケート



※「教職員アンケート」では、「我が子」を「本校の児童」と置き換えて回答しています。